

## 第35回道本部委員会 仲間を増やし春闘前進へ 9条改憲許さない「3000万人署名」に全力で

2月18日、第35回道本部委員会で「2018年春闘方針」などを満場一致で決定しました。道本部委員会には道本部委員、執行部など40人あまりが参加し、仲間を増やし、建交労のたたかいを見せて、政治を変えるために春闘を前進させる決意を固めました。

道本部の森国委員長は「世界でも日本でも富が1%の富裕層に集中して貧困と格差がひろがっている。ニセの『働き方改革』や9条改憲を許さないたたかいを強めるとともに、6月の『建交労フェスタ』にむけて仲間を増やして成功させよう」と訴えました。

### 職場・業種・地域から組織拡大の報告と決意

提案された議案にもとづいて10人が発言し、組織拡大、争議支援、憲法闘争、賃金闘争、鉄路を守るたたかいなど、建交労がたたかう課題が深められました。組織拡大では、建設現場や職場での組合員拡大、労働相談、労災職業病部会の「健康相談会」のとりくみ、道南での「学童保育総がかり」作戦など各業種・地域でのとりくみが報告され、決意が述べられました。

### たたかう仲間への支援強め「フェスタ」の成功へ

3月8日に判決を迎える岡内さんの労災不支給決定の取り消し訴訟とともに、釧路支部の佐藤さんへの不当な損害賠償請求訴訟や殖産運輸支部の労働委員会での不当労働行為とのたたかい、トンネルじん肺根絶訴訟などの訴えがあり、建交労全体で支援を強めることを確認しました。青年部から「建交労フェスタ」成功にむけたTシャツ普及と多くの仲間の参加を訴える発言がありました。

### 職場での春闘要求提出と社会的賃金闘争を

会議の中で「9条改憲って何？」のDVDを見て学習し、組合員の学習を強めながら「3000万人署名」のとりくみを強める決意を固めました。職場での春闘要求書の提出とともに、3月から6年連続で引き上げられる公共工事設計労務単価を建設労働者の賃上げに反映させるとりくみや最賃引き上げ、「公契約条例」制定など「社会的な賃金闘争」を強めることが強調されました。

### 鉄路の切り捨て許さず道政の転換を

鉄道高架からのコンクリート落下などJR北海道の安全問題とともに、高橋道政のもとで「維持する路線」「代替交通を検討する路線」などに振り分けて鉄路が廃止されようとしていることに対して、北海道の鉄路を守るとりくみの強化が訴えられました。そして「原発」問題などもふくめ、来年の知事選挙で道政を転換しなければならないと強調されました。